

平成 26 年度夏期休暇実習生の受入れについて



テーマ名：除染エリアの除染効果維持確認及び評価

受入部署：福島環境安全センター
環境回復推進グループ

受入学生：細井 舜（筑波大学）
坂本 淳（福島工業高等専門学校）

受入期間：9月1日～9月12日

夏期休暇実習生の声：

大学院卒業後は原子力業界への就職をめざしています。その中で安全なプラント運転が必要だと考えています。ですが今回の実習で実際の事故後の街を目の当たりにし、頭の中で思うだけでなく体で思うようになったような感じがします。

福井大学大学院 修士課程 1年 Oさん

目的：

国内の大学の学部、博士課程及び修士課程並びに高等専門学校の4・5年に在学する学生を対象に、原子力機構の業務に関する実習テーマを設定し、学校の夏期休暇期間中（7月中旬から9月末）に、原子力業務を体験してもらうことで我が国における原子力の研究者、技術者等の育成に貢献しています。

概要：

平成26年度は、5月1日頃、原子力関連学科のある大学、高等専門学校への募集要項等の送付及び原子力機構のホームページを通じて、139件（技術系：22件、研究系：115件、事務系：2件）のテーマで公募し、結果、202名（研究系及び技術系：196名、事務系：6名）の学生を受け入れました。また、ほとんど全ての学生から、左記の御意見のように有難い感想を頂戴しております。

次年度：

平成27年度も、来年の5月頃に今年度と同様に夏期休暇実習生を公募いたします。来年度も様々なテーマを用意いたしますので、学生の皆様の積極的な御応募をお待ちしております。また、夏期休暇実習はインターンシップとしても有用ですので、先生方からも是非、学生の皆様に御案内いただければと思います。

参考データ：

